



のびのび若っ子

チューリップの種

校長 池田 千穂

令和5年度が始まりました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。今年度は47人の新1年生を迎え、全校362人の子ども達でスタートいたしました。教職員一同、着任者と共に、気持ちも新たに若葉台小学校の教育活動に全力で取り組んでまいります。

若葉台の街はこの季節、花々があふれて大変美しいです。公園の花壇も様々な花が植えられています。本校の子ども達もお手伝いをさせていただきました。

春の花と言えば、チューリップがあります。子ども達にとって、チューリップの歌から最初に覚える花の名前ということもあるでしょうし、低学年は球根を植えて学習や校内環境に役立てている身近な花です。



以前、ある理科の先生が「みなさん、チューリップの種を知っていますか？見たことがありますか？子どもに言われたことがあります。『先生、チューリップって種はないよね。球根だよ。』子ども達はチューリップには種がないと思っているかもしれませんよ。」というお話をされました。子ども達の目線を、子ども達の思考を、私たちは大切にして授業をしなくてはいけないことを改めて思いました。

本校では、『どの子も「わかる・できる」を実感し、主体的に学びに向かう子どもの育成』を目指して授業研究、改善を行っています。授業のめあてがわかったり、できたりすることは重要です。一方で「わかる、できる」という内容は子ども一人一人それぞれにもあるはずで、本校では、チームティーチング、パワーアップ教室、国際教室、パワーアップルーム支援といった個々に合う支援をチーム若葉台TSC（特別支援チーム）を中心にさらに推進し取り組んでいきます。

チューリップといえば、切り花として生けると茎がすごい勢いで伸びてしまいます。長さのバランスを考えて生けたのにチューリップはお構いなしにはみだして成長します。切り花になっても、細い茎は曲がりながら、花が重たくて首をもたげながら、それでも光の方へぐんぐん伸びていくチューリップの力強い生命力を感じています。子ども達も日々ぐんぐん成長しています。チューリップと同様に成長の仕方はそれぞれですが、光に向かって伸びていくよう、私たちは支援していきます。職員一同、子ども達のために最善を尽くしてまいりますので、本年度もどうぞ、よろしく願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切に作る心を育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』